

2025年6月29日 聖霊降臨後第3「イエスに従う」

第1朗読 列王記上 19:15～16,19～21

第2朗読 ガラテヤ 5: 1,13～25

福音書 ルカ 9:51～62

天におられる、わたしたちの神と、イエス・キリストから、恵みと平安とがあなた方の上にありますように。

預言者エリヤはイスラエルの王アハブから命を狙われます。荒れ野に逃げ込み、死を覚悟して疲れ切っている彼に、主の使いが現れます。食べ物と水を与えて休ませて、体力を回復させます。

エリヤは再び歩き出して、四十日40夜の後、神の山ホレブに着きます。主なる神の前に立ち、祭壇が壊されて、彼以外の預言者たちが剣にかけられ、今最後の自分の命も狙われている事を必死に訴えます。

そんなエリヤに主は命じられます。

「行け、あなたの来た道を引き返し、ダマスコの荒れ野に向かえ。そこに着いたなら、ハザエルに油を注いで彼をアラムの王とせよ。ニムシの子イエフにも油を注いでイスラエルの王とせよ。またアベル・メホラのシャファトの子エリシャにも油を注ぎ、あなたに代わる預言者とせよ。」

やっと逃げてきた危険な道を「引き返せ」と主は命じられます。それに従ってエリヤは、彼の後継者となるエリシャと出会います。神さまの命令は、私たちの理解を超えています。

預言者エリヤが批判したのは、アハブ王が築いたバアルの神殿であり、アハブ王が造っ

たアシュラ像でした。エリヤはバアルの預言者450人と、アシュラの預言者400人を集めて対決し、勝利します。そして壊された主の祭壇を修復します。

けれどイエスさまは、決してこのような戦い方をなさいません。それは今日の福音書からも明らかです。イエスさまたちを歓迎しなかったサマリヤの人たちに、弟子のヤコブとヨハネが「主よ、お望みなら、天から火を降らせて、彼らを焼き滅ぼしましょうか」と言った時に、イエスさまは振り向いて二人を戒められたとあります。けれど新しい聖書協会共同訳では「二人をお叱りになった」と翻訳されます。人間の生きる村に、ミサイルを撃ち込んで爆撃するような暴力を、決してイエスさまはお許しになりません。

ではどうするのでしょうか。ただ別の村に向かわれます。イエスさまたちには、新しい場所に向かって進んで行く自由があります。

<狐には穴があり、空の鳥には巣がある。だが、人の子には枕する所もない。>

イエスさまのこの御言葉は、主を理解出来ない私たちの限界を示す寂しいものに聞こえます。しかし私のような、いつも動き回っている人間にとっては、イエスさまに従う自由を謳う、明るい恵みの御言葉に響きます。

私たちのルターは1520年に「キリスト教的人間の自由」で、キリスト者はすべてのものの上に立つ自由な主人であって、だれにも服しない。

キリスト者はすべてのものに仕える僕であって、だれにでも服する。

と宣言しました。イエスさまに従うことは、この究極的な自由の中で生きることだと、ルターは考えたのです。究極的な自由とは、今日の第2日課であるガラテヤ書5章1節でパウロが語る、

<この自由を得させるために、キリストはわたしたちを自由の身にしてくださったのです。>

だから、しっかりしなさい。奴隷の轡に二度とつながれてはなりません。>

という、キリストが私たちに与えて下さった自由です。それはまさに「神の義」であり、「神の救い」です。自由という言葉に私たちは、「暴力からの自由」や「全体主義からの自由」など「からの自由」を思い浮かべます。けれどルターが考えたのは「神の国への自由」であり「正しさへの自由」です。神さまへ向かう自由を、誰も妨げることは出来ません。

イエス・キリストの御言葉は、世にあるすべての囚われから、私たちを解放して下さいます。私たちはその喜びをもって、すべてのものたちのしもべとなって働きます。そこには迷いはありません。

多くの動物は生まれた時に、最初に目にしたものを親と思って、これに従っていきます。イエス・キリストによって新しくされた人は、イエスさまに従って、神の国へと歩み出します。

今から9年前、宗教改革記念500年に先立つ前年、2016年8月にルター研究所から<『キリスト者の自由』を読む>という小冊子が出ました。出版社のリトンは無くなりましたが、今もこの本は買うことが出来ます。

この23ページから28ページに、鈴木浩先生が書かれた<『キリスト者の自由』を読む>という一文があります。鈴木先生に導かれて、ルーテル学院大学・神学校、そしてルター研究所で学び続けて来た私たちにとって、これは先生からの大切な置き土産です。

<キリスト者は「だれにも服さない自由な主人」であるからこそ、だれにも強いられないで、自ら進んで「奉仕への自由」へ立ち上がっていく>

この鈴木先生からの饒の言葉を胸に、今日も隣人に仕えましょう。

人知では到底計り知る事の出来ない神の平安が、キリスト・イエスにあって、あなたがた

の心と思いを守られますように。アーメン。